



C.D.R.D.センター（内部および外観）

て、また新しいメンテナンスの手法を開発・訓練する研究開発拠点としての役割を担う。

コンビニの模擬店舗をはじめ、近年受注が増えているアパートの入退去時清掃の研修が行えるワンルームマンションの部屋、さまざまな材質の床、厨房機器（レンジフード、フライヤー等）、形態の異なる空調設備などが作り込まれており、清掃だけでなく設備機器のメンテナンスの実習にも対応できる施設となっている。

センターは、同社以外の協力会社や取引会社にも、清掃やメンテナンス技術の教育研修の場として利用されている。

CSR.mt

取引企業や協力会社100社が加盟する勉強会

今回のコンテストは、同社を中心とするCSR.mtの共同事業として企画された。その目的は「会員企業の実務メンバーが自身の施工レベルを確認するとともに、他社に負けないという競争意識を目覚めさせることで、さらなる技術・サービス向上に向けたモチベーションを創り出す」ことにある。

CSR.mtは、会員相互の情報公開・交換を通じた会員企業の発展、顧客満足度の追求、社会への貢献を目的に2008年秋、くうかん、オールワンの取引企業や協力企業を中心に発足した。

価格競争や人手不足などビルメンテナンス業界を取り巻く環境が厳しさを増し、企業が展望を見だしにくいなかで、ビルメンテナンス企業の本来あるべき姿や課題などを会員間で共有し、研究していく勉強会といった性格を有している。

年に2回、テーマを決めて会合を開いており、現在約100社が加盟。テーマは人材の雇用・安定、施

工技術の向上、新規顧客獲得のための戦略、清掃業者として必要な業界学習、得意先の業界学習など多岐に及び、外部の専門家を講師に招くなど、活発に活動している。平成28年からは会員企業が相互に知恵を出し合い、日頃の効率的な業務運営を目的としたグループディスカッションに特化して開催しているという。

くうかんではこうしたCSR.mtの活動とは別に、全国のクルーリーダーを対象にオールワンの研修を受けてもらう認定制度「オールワンアカデミー（オールワンリーダー研修）」を年数回開催しており、C.D.R.D.センターがその拠点となっている。

オールワンなど中核メンバーが作成したテキストやマニュアルに基づき、清掃・メンテナンス技術だけでなく、CSR（企業の社会的責任）の徹底などを教育。これまでに延べ約2,000人が受講しているという。

コンテストの目的

現場の技術と意欲を高める催しとして企画

CSR.mtの事務局長を務めるくうかんの谷口会長は、コンテスト開催に至った経緯を次のように説明する。

「CSR.mtの参加者は企業の代表や幹部が中心ですが、そのなかで、現場の方々を巻き込んだ企画が組めないか、という意見が出されました。日々現場での業務を履行している彼らの意欲を高め、技術向上を図ることを目的とし、自らの施工技術を確認するとともに、他社の技術も見ながらモチベーションアップを狙うイベントとしてコンテストを立案しました。また、当社としては、得意先との契約である〆仕様遵守、を浸透させるため、単に技術向上だけ